

先人の気風を今に受け継ぐここは「しぶたみ」

広報
第23号

しぶたみ

発行 渋民振興会
令和8年3月26日

《市民センター》スマホ教室 これでバッチリ、スマホライフ

3月19日（木）、スマホ教室が開催され、IT会社アトラスオンラインの菅原さんと巖本さんを講師に迎え、最近よく耳にする「PayPay」について学びました。参加者は、日常生活で便利に使える電子決済の仕組みや活用方法への理解を深めました。

講師からは、電子マネーの活用方法やポイントの貯め方が紹介されました。特に、PayPayで支払うとポイントが付与されるため、公共料金を口座引き落としにするよりお得になる場合があるという説明には、多くの参加者が関心を示しました。一方で、実際の利用には難しさも感じつつ、お得な情報を今後の生活に生かしたいという声が聞かれました。

また、事前に寄せられていた質問に基づき、メールの送り方やオンラインショッピングの方法についても説明があり、初めての方も安心し

て操作できた様子でした。

今回の教室を通じて、参加者はスマートフォンの便利な活用方法を学び、新しい技術に触れる楽しさを実感していました。



▲ ペイペイのインストールも教えて貰いました。

《振興会事務局》 市への要望について

2月24日（火）、渋民振興会理事会が開催されました。地区民及び利用者から施設の改善等の声をうけ、下記の内容を要望することといたしました。

① 100～150人程度参集できる研修室等の整備について

講演会等の行事開催に適した規模の会場がなく不便なため、研修室の拡張等を再検討してほしい。

② 市民センター駐車場の整備について

駐車場が不足しているため、隣接する東側市有地を駐車場として整備し、整備までの間は敷砂利対応。

③ 体育館の空調設備整備について

体育館は温度調整ができず真夏・真冬に利用しにくいと、冷暖房設備の設置を検討してほしい。

④ 市民センターグラウンド整備について

グラウンドの水はけが悪く利用に支障が出ているため、砂引き等の整備を検討してほしい。

⑤ 市民センターの屋外壁時計の撤去について

屋外壁時計の撤去をしてほしい。

⑥ 体育館ステージ中割幕の交換（改修）について

老朽化により使用できない体育館ステージの中割幕について、交換（改修）をしてほしい

⑦ 市民センター玄関階段への手すりの設置について

高齢者や障がい者の安全な利用のため、玄関階段への手すり設置をお願いしたい。

薬の飲み方を学ぼう「薬剤師講演会」を実施

3月6日(金)市民センターにて、
 渋民老人クラブ連合会との共催による第4回高齢者学級「薬剤師講演会」を開催しました。

今回の講演会は、市北部健康推進の提案で行われ、講師は「そうごう薬局大原店」の薬剤師 杉本 早侑美先生で、「多剤重複服薬(必要以上に多くの薬を飲んでいる状態)」を題しての講演をしていただきました。講演後には“具体的な薬剤名をあげての多剤重複服薬”“晩酌後の服薬”

▼ 講師の杉本先生



“高血圧症の薬とグレープフルーツジュースの飲み合わせ”など多くの質問が出され、関心の高さが伺えました。講師からは適切なアドバイスをいただき、参加者は納得した様子でした。

▼ 服薬の注意点を学ぶ参加者の皆さん



「モルック」にも挑戦！軽スポーツ交流大会

3月1日(日)、市民センターにて渋民体育協会主催による「第2回渋民地区軽スポーツ交流大会」が開催されました。

18名の参加者は4チームに分かれ、スポーツ推進員の石川完二さんの指導のもと、ポッチャ、モルック、スカットボールの3種目で競い合いました。

今回は経験者の少ないモルックにも挑戦。木製のピンを倒して点数を競う、フィンランド発祥の競技とのことです。参加者は石川さんによるルール説明やコツを真剣に聞き、ほか2種目の競技同様に、初めてながらもチームで団結し、和気あいあいと楽しく得点を重ねていきました。

▶ モルックの説明



▶ スカットボール



【大東高校だより】1・2年生の地域貢献と、3年生の門出を彩る伝統行事

◀ 2月11日

1・2年生は一関市大東大原水かけ祭りに参加し、山車押しや駐車場係、販売・食堂補助など、多様な役割で地域行事を支えました。焼鳥や飲み物の提供、カレー調理、観光案内所の受付など、各部署で生徒たちは協力しながら主体的に活動しました。鹿踊部は多くの観客に囲まれる中、堂々とした演舞を披露し、温かい拍手に包まれました。



▲ 水かけ祭りボランティア(販売のお手伝い)



▲ 応援団引継式(団長の腕章の引継ぎ)



◀ 2月27日

応援団の引継式が行われ、新旧団長が思いをつないだ和やかな式となりました。同日実施の同窓会入会式では、同窓会長から卒業に向けて「時間を守る」「あいさつをする」「友人を大切にすること」の励ましが送られ、代表生徒が記念品を受け取りました。

◀ 同窓会入会式(同窓会長から卒業生代表に記念品贈られる)

《シンポジウム》渋民と平泉の繋がり

2月28日(土)、記念シンポジウム「古代末期の東磐井—安倍氏・奥州藤原氏・金氏—」が室蓬ホールで開催されました。今回のテーマは、渋民8区にある「水無遺跡」です。

水無遺跡は、平成15年に農地整備に伴い発掘調査が行われました。その後、令和5年度から遺跡の再検討が進められています。以前の調査報告書で詳しく言及されていなかった出土品の再調査の結果、格式の高い儀礼で用いられた土器等であることが判明しました。

シンポジウムでは、研究者の方々から、金ヶ崎の安倍氏や平泉の藤原氏との関係を示す土器の特徴、さらに柳之御所遺跡との地形

的な類似点について紹介がありました。安倍氏から藤原氏の時代にかけて権力を維持していた豪族がこの館を治めていたと考えられ、安倍氏の親族ともいわれる磐井金氏の居館ではないかという見解が示されました。

水無遺跡はまだ多くの研究が必要ですが、地域の人々にとって「私たちの渋民にこんな歴史があったんだ」と感じられる場所です。今回の発表が、渋民の他の遺跡との関わりにも目を向けるきっかけとなれば素敵ですね。今後の研究の進展にも注目が集まります。



《渋民婦人会》

身体を動かした親睦交流会

2月27日(金)、婦人会による親睦交流会が開催されました。講師にはスポーツ推進員の石川完二さんを迎え、軽スポーツにチャレンジです！

ポッチャやモルックなど初めてやる競技に最初は戸惑っていた会員の方々も、次第に「残念!」「惜しい!」「うまいうまい」と周りの声に励まされ、みんなで気持ちいい汗を流しました。



ポッチャの試合中。キレイなフォームです

こいのぼりの御寄附を
 随時募集中です！

《渋民ここだけのほなし》

《芦東山先生顕彰会》お宝いっぱい！

2月25日(水)、芦東山記念館で、「芦家住宅展示環境整備事業」の報告会が行われました。この事業は、記念館と芦東山先生顕彰会が一年間かけて芦家住宅の文献整理を行ったものです。

報告会では、記念館学芸員の高橋紘氏が、事業の概要や、芦文八郎氏が保管していた資料について紹介しました。資料の中には、芦東山先生が自ら書いた手紙の写しや、文久山(興田にあった洋式高炉による製鉄所)の経営状況がわかる資料なども含まれ、参加者は興味深く耳を傾け、貴重な資料に目を輝かせて聴き入っていました。

報告会を通じて、地域の歴史や文化財への関心が高まり、今後のさらなる調査・研究への期待も広がりました。



▲ 資料に釘付けの参加者たち